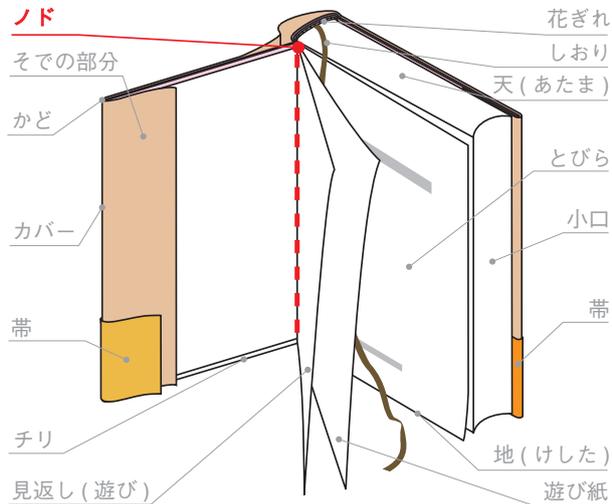
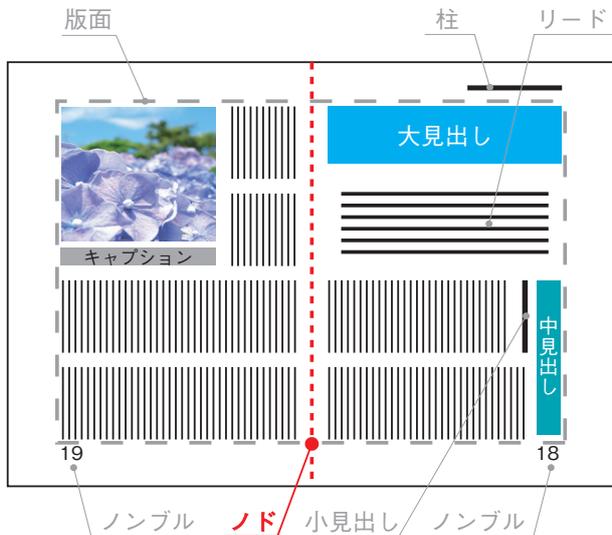


ノド

のど



書籍の部分名称



誌面の部分名称

概要

ノドとは、書籍や雑誌などの冊子で、綴（と）じられた部分 [=綴じ目] をいいます。

また、書籍や雑誌などの紙面において、内容が印刷される範囲 [=版面] 周囲の余白（マージン）のうち、綴じられた側の余白を指す場合もあります。

冊子の構造上、ノドの余白を適切に設定することは、読みやすさを確保するうえで重要な点であり、冊子それぞれの仕様や用紙の種類、製本方式に応じた配慮が求められます。とりわけ週刊誌やマンガ雑誌に見られるような針金で綴じて二つ折りに仕上げた中綴じ（なかとじ）の冊子の場合、冊子の厚みが増すにしたがって、ノドの余白の寸法が外側と内側とで異なる、つまりページ横方向の仕上がり寸法が異なる現象が生じるので、注意が必要です。

また、見開きの状態で左右のページにわたって1枚の写真や一連の語句を配置するような場合、ノドの存在を意識しないと、写真の中央にある肝心の画像が綴じ目に隠れてしまったり、言葉が判読できなくなってしまうことになります。冊子が製本されることによって、ノドの部分がどのくらい隠れることになるのかをあらかじめ考慮して計画することが大切です。